

子育て・教育環境

第 1 回部会（5 月 22 日）

- ・部会テーマを「学校教育の再編」（施設一体型小中一貫校）、「地域の子育て・教育環境づくり」の2つとすることを決定し、情報共有&意見交換！

第 2 ～ 5 回部会（6 ～ 9 月）

- ・施設一体型小中一貫校に関する市からの情報提供&意見交換、和泉市初の施設一体型小中一貫校「南松尾はつが野学園」の施設見学、「南松尾はつが野学園」PTA を交えた意見交換 など
- ・他部会の意見なども参考に、「地域の子育て環境」について意見交換

第 6 回部会（10 月 16 日）

- ・地域の子育て環境（子育て世代が集う場所づくり等）について意見交換

< これまでの意見（抜粋要約） >

< 学校教育の再編 >

- ・小中一貫校はメリットが多そうだが、心配な点もある
（上級生の影響が早くから及ぶこと、小6のリーダーシップ不足など）
- ・学校跡地の使い方も議論すべき
- ・和泉市のモデルとなる、通わせたいと思われる学校をつくりたい
- ・当事者である保護者の声も聞くべき

< 地域の子育て環境づくり >

- ・多様性を受け入れられるまち・サポートできるまち
（地域固有の問題、複雑な家庭環境の世帯など）
- ・この地域の環境・特徴をふまえた、子育て環境づくりが大事
- ・地域で子供を育てる。そのため子ども⇔大人、親⇔親の信頼関係構築
- ・若者・子育て世帯を引きつける目玉・特徴
- ・地域での小さな取組みの積み重ねが大切

第1回部会（5月31日）

- ・今後のまちの大まかな動きについて情報共有し、まちの将来目標像や、このまちに必要な住宅・施設、コミュニティのあり方などについて自由に意見交換

第2回部会（8月31日）

- ・市営住宅等の建替・改修事例を参考にしながら、地域が抱える課題、今後目指すべき方向について意見交換

第3回部会（9月27日）

- ・市営住宅を中心に、今後の住環境やまちに関する基本的な考え方を事務局から提示し、意見交換

⇒取組みの進め方（視点）、方向性、主な取組みについて概ね合意

<これまでの意見（抜粋要約）>

<目の前のこと>

- ・市営住宅の老朽化への対応（補修）
- ・空き住戸・店舗・集会所の活用
（若者の住み続け、呼び込み、気軽に立ち寄れる場）

<中長期的なこと>

- ・自然な人づきあい、信頼関係、見守り、コミュニティが続くまち
- ・高齢者・子育て等を支援する施設・サービスが近くにあるまち
新たな施設はまちの真ん中、分かり易い場所に
- ・多世代がミックスする、多様な住まいがあるまち
- ・若者・子育て世帯が住みたくなるまち（魅力・モデルになるまち）
- ・歩道、公園・緑、街灯など安全・快適なまち
- ・まちの移動や買い物を便利に。地域に駐車場を
- ・公共施設は地域の実情をふまえてあり方が考える必要 など

福祉

第1回部会（6月4日）

- ・今後のまちの大まかな動きについて情報共有し、今の地域福祉の課題や将来のあり方などについて自由に意見交換

<これまでの意見（抜粋要約）>

- ・建替待ちの団地や高齢化等による人口減（交流減）
- ・高齢者の孤立化、引きこもり。引き出す工夫・きっかけが必要
- ・個別に取り組む福祉活動情報をまとめて届ける、活動のネットワーク化
- ・これから来る住民が、地域コミュニティ・活動に入るための工夫
- ・新たな地域ボランティアを育てる人づくり
- ・地域で誰もが使える集会空間（つどい場、集会所がない地区の対応）
- ・施設を地域のやる気のある人で運営（生きがいづくり）

7
〜
9
月

並行して「協議の場」
を校区単位で実施

地域活性化

第1回部会（5月28日）

- ・今後のまちの大まかな動きについて情報共有し、地域活性化のアイデアなどについて自由に意見交換

<これまでの意見（抜粋要約）>

- ・地域魅力を集めてブランドづくり、観光のまちづくり
- ・地場産業の体験の場（外向け）、販売体験づくり（地域向け）
- ・団地空間（空き家・店舗、壁）を使ったアートスペース
- ・親子づれで集まれる空間（集客施設）
- ・地域のことを学ぶ・伝える場、講座など
- ・地域魅力・情報の発信（ホームページ発信、TV取材など）
- ・短時間でも働く場をつくり魅力とする
- ・他地域の取組みも参考に、できる取組みをやってみては